

レジメン名： Pola-R-CHP 療法

【適応癌腫】 DLBCL

【1 コースの期間】 21 日 【最大コース数】 6 コース

【催吐性リスク】 高度

<1 コース目>

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量（補正単位）	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)		
注射										
Rp 01	静脈内注射 グラネセトロン静注液シリンジ 3mg 「サリ」	3 mg	静注	+00:00						
Rp 02	※化学療法（薬剤部ミキシング） 90分かけて ボライピー点滴静注用 生理食塩液 100mL	点滴[化療] 1.8 mg/kg 100 mL	【冷所保存】	+00:00						
Rp 03	※化学療法（薬剤部ミキシング） 30分かけて ドキシソルピシン塩酸塩注射用 生理食塩液 100mL	点滴[化療] 50 mg/m ² 100 mL		+01:30						
Rp 04	※化学療法（薬剤部ミキシング） 2時間かけて 注射用エンドキサン 500mg 生理食塩液 500mL	点滴[化療] 750 mg/m ² 500 mL		+02:00						
Rp 05	※化学療法（薬剤部ミキシング） 朝12錠 昼8錠 5日分 プレドニン錠 5mg	※化学療法内服 100 mg/Body		+00:00 +04:00						
Rp 06	※化学療法（薬剤部ミキシング） 化学療法前に内服 カロナール錠 200mg ボララミン錠 2mg	※化学療法内服 2 錠 1 錠		00:00						

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量（補正単位）	速度指示	day (1)						
注射										
Rp 01	※化学療法（薬剤部ミキシング） 1時間後100ml/h、200ml/hへ リツキシマブBS点滴静注「KHK」 生理食塩液 500mL	点滴[化療] 25ml/hより開始 375 mg/m ² 500 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法（薬剤部ミキシング） リツキシマブ投与開始前に内服 ボララミン錠 2mg 頓用 医師の指示通り カロナール錠 200mg	※化学療法内服 1 錠 2 錠		+00:00						

<2～6 コース目>

RpNo 注射	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量（補正単位）	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)		
Rp 01	静脈内注射 グラニセロン静注液シリンジ 3mg 「サリ」	3 mg	静注	+00:00						
Rp 02	※化学療法（薬剤部ミキシング） 30分かけて ポライピー点滴静注用 生理食塩液 100mL	1.8 mg/kg 100 mL	点滴【化療】 【冷所保存】	+00:00						
Rp 03	※化学療法（薬剤部ミキシング） 30分かけて ドキソルビシン塩酸塩注射用 生理食塩液 100mL	50 mg/m ² 100 mL	点滴【化療】	+00:30						
Rp 04	※化学療法（薬剤部ミキシング） 2時間かけて 注射用エンドキサン 500mg 生理食塩液 500mL	750 mg/m ² 500 mL	点滴【化療】	+01:00						
Rp 05	※化学療法（薬剤部ミキシング） 朝12錠 昼8錠 5日分 プレドニ錠 5mg	※化学療法内服 100 mg/Body		+00:00 +04:00						
Rp 06	※化学療法（薬剤部ミキシング） 化学療法前に内服 カロナール錠 200mg ボララミン錠 2mg	2 錠 1 錠	※化学療法内服	00:00						

Rp 01	※化学療法（薬剤部ミキシング） 1時間後200mL/hへup リツキシマブBS点滴静注「KHK」 生理食塩液 500mL	点 滴【化療】 100mL/hより開始 375 mg/m ² 500 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法（薬剤部ミキシング） リツキシマブ投与開始前に内服 ボララミン錠 2mg 頓用 医師の指示通り 1回分 カロナール錠 200mg	※化学療法内服 1 錠 2 錠		+00:00						

【備考】

- ・同日にリツキシマブ、ボラツズマブを投与する場合、前投薬は共用としている。
- ・リツキシマブ、ボラツズマブの Infusion reaction に注意。
- ・ボラツズマブの末梢神経障害に注意。
- ・アントラサイクリン系薬剤の累積投与量に注意。ドキソルビシンの総投与量は 500mg/m²以下にする。
- ・プレドニゾロンによる不眠、精神症状（高揚感、倦怠感）、食欲増加などの症状が出現する可能性あり。
- ・腎機能低下時（CCr<10mL/min 以下）はドキソルビシン 75%に減量、エンドキサン 50～75%に減量を考慮。
- ・80 歳以上に施行する場合は CHP を 50%減量することを考慮。